

第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

一般社団法人アスラサポート

②施設名等

名称：	乳児院つぼみ
施設長氏名：	江森 京美
定員：	20名
所在地（都道府県）：	埼玉県

③理念・基本方針

養育理念

- ・子どもたちをかけがえのないものとして守り育て、安心安全な生活を保障するとともに、子どもたちの最善の利益を守ります。
- ・大切な子ども達ひとりひとりの幸せと、健やかな成長を支援し、より家庭的な養育を行います。
- ・地域の子育て支援や社会貢献に努め、誰でも利用できる施設を目指します。

基本方針

- ・命の尊さを感じ、自分を大切に、他人を思いやる事のできる心豊かな子どもに育てます。
- ・子ども達をかけがえのない存在としてその権利を保証し、より家庭的な環境の中で、愛情に支えられていると実感できる支援をします。
- ・保護者と相互理解を深め、より良い関係を築き、協働して子どもの健全な成長と自立を支援します。
- ・社会的養護の担い手として、地域社会と共生し、より良い施設づくりを目指します。
- ・防災と危機管理に努め、安心安全な環境を整えます。
- ・倫理観の確立や子どもの権利養護を目指した職員を育成します。

④施設の特徴的な取組

- ・家庭的養育の推進
4ユニットのいずれも5人を定員とし、0～4歳児の縦割り編成になっている。
家庭的な雰囲気大切にしている。
家庭と同様に、職員が裸で子どもと入浴をしている。
- ・食育の推進
職員と子どもと一緒に食事をする事で、食事のおいしさや楽しさを共有し、食は体作りの基本であることを実践している。
また誕生日には、こどもの好きなキャラクターのケーキを職員が手作りし、皆で誕生日を祝っている。
キッチン企画でキッチンのユニット担当職員がユニット職員と計画を立て、買い物や調理を体験している。
- ・個別養育の実施
担当する子どもと愛着関係を築くために、個別に外出等の企画を立て実施している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2025/7/9	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2025/11/12	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和4年度（和暦）	

⑥総評

1. 確実にPDCAが行われ支援がなされている施設である。
標準的マニュアルの完成度の高さ 見直しのルール 職員の意見の反映が組織的に行われ施設運営基礎と活用されている。
特に新任の職員のための導入研修においては項目ごとにマニュアルを説明・理解度などのチェックポイントがあり講師も受講者も共通理解のもと体系立て習熟が図れるように工夫されている。
また毎月行われているマニュアル会議では日々の不都合な箇所や更新したい箇所がきめ細かく検討されている。
これは日々の支援の振り返りが日常行われている施設であるといえる。
マニュアルは作って完成の施設が少なくない中マニュアルを通し支援の仕方や防災理解を深め状況に合わせて細かく改定していく一連の流れは施設運営に欠かせないものとなっている。
福祉施設を運営するうえで重要な振り返り・見直しが行われ確実にPDCAを行える施設である。
 2. こどもの愛着形成
運営上、厳しい時でも職員の工夫で常に愛着形成を大切に抱っこを基本にするなど家庭のような養育を行っている。
各行事は季節や日本の文化を伝えこどもの成長を祝う職員の思いが施設の中にあふれ、こどもの安定した成長が育まれている。
誕生日は一人一人が好きなケーキを手作り、お食い初めやお宮参りなど企画しこどもの喜び楽しさを追求し提供している。
また乳幼児期のアルバムは写真や成長の記録は元よりこどもの時々の制作物を入れるなど大きくなって自分のことを振り返れるよう職員の暖かい気持ちが込められている。
 3. 各ユニットに看護師配置
各ユニットは年齢の異なる子どもたちで成り立ち通常3人の職員で支援を行っている。
ユニットには1名看護師を配置し看護業務と同時にほかの職員と同様子どもたちの日常の支援も行っている。
看護と支援を分けるのではなく支援の中に看護業務を行い乳幼児の小さな変化をすぐに受け止めやすく工夫している。
 4. 保護者・里親支援
家庭復帰に向け保護者とこどもの関係再構築を行い保護者が理解し取り組めるよう根気強く対峙している。
里親支援はまずこどもの距離感を少しずつ詰められるよう努め段階ごとに小さなステップを踏み
こどもが安心して里親と生活できるよう支援している。
また少しでも里親を理解したいと自ら週末里親を経験する職員もあり保護者や里親に暖かく寄り添いこどもの幸せを見守る職員の姿があった。
 5. 関係官轄機関との綿密な連携
児童相談所・行政・福祉施設など綿密に連携を図り子どもたちに不安の時期がなるべく少なくなるよう担当窓口を置き各所と綿密な連携を図っている。
また県内乳児院の合同研修を提案し県の乳児院の質の向上に向け努めている。
- ◇今後期待したい点
施設として完成されつつありますがさらに安定した施設運営する上で、自己評価を基にした個人の目標を明確にし、これからも長く温かい愛着形成を大切に子どもたちへの支援が続けられるよう期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設のコメント

・設立より6年目の施設であり、まだまだ整っていない点が多い中、自分たちでは気付かなかったところを評価して頂いて、有難かった。
・今回の評価結果から自分たちの課題点が見い出されたが、結果報告時にヒントとなるお話も頂き解決への糸口が見え、今後改善へ向けて取り組んで行きたい。

⑧第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・理念と基本方針はパンフレットやホームページ公開で示し職員や利用者への周知に努めている ・理事長や施設長は入職時に職員に説明している ・保護者や関係者、実習生へはパンフレットを用いて丁寧に説明し施設や職員が目指す支援の方向性の理解に努めている 	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・法人は国や行政の構想・計画・施策・地域実態の把握分析に努めている ・施設長は県乳児院協議会の会議や研修に参加し福祉行政施策に関する情報を収集分析するとともに国や全国乳児福祉協議会が発行する資料を基に養育や支援のニーズの把握に努めている 	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・経営課題は事業計画に掲載し年度末に事業報告としてまとめ理事会で報告している ・経営課題は会議で話し合い追加・改定事項はマニュアルを更新している ・月1回の運営会議に理事長、スーパーバイザーも参加し検証を行っている ・職員の意見箱を設け職員の意見を拾うよう努めている 	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画は策定されていないが今後策定の意向をもっている 	
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画は策定されていないが、より家庭的な養育を目指し単年度計画を策定し計画に基づいた運営が行われている ・単年度計画には基本事項に加え養育目標、会議や計画の方針、虐待防止対策などの実施内容などが網羅され共有、実行がしやすくなっている 	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は各会議や各ユニットから上がった意見を踏まえてリーダー層が取りまとめ策定し会議などで周知に努めている ・各会議で実施状況を確認し改めて年度末実施状況を把握評価し次年度の計画策定に反映させている 	

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には入所時や面会時に理念や基本方針、日課、行事予定などを丁寧に説明している ・ホームページやアプリを活用し時間や場所を問わず確認できるように情報を発信している 		

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1)	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な会議で職員は意見を持ち寄り活発に議論しPDCAサイクルが絶えず行われている ・毎月マニュアルを見直しこどもに支援を行っている ・年1回の施設自己評価や3年に一度の第三者評価を受審し支援の質の向上に努めている ・法人理事長やスーパーバイザーが参加する運営会議で検証を行う仕組みがある 		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・改善策は詳細に記録され職員が理解しやすいものとなっている ・また改善策はマニュアル等にすぐに反映し職員が即時に取り組めるようにしている ・一人ひとりのこどもに関する事項はユニット会議で支援内容や自立支援計画の進捗を確認している ・入所当初は二週間ごとに成長や変化を記録し支援に反映している 		

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1)	施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・通常時の役割を職務分掌表に詳細に明示し職員に分かりやすく伝えようと努めている ・非常災害時は各マニュアルに役割や責任不在時の権限委任を定めている 		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設長は県乳児院協議会、法人などから情報を得、運営に反映している ・法人は法改定や社会情勢に合わせ各種規則規程を更新し施設長は理解と遵守に努めている ・研修後は報告書を作成し職員へ内容を共有している 		
(2)	施設長のリーダーシップが発揮されている。	
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・改善点は職員の理解を得ながらスモールステップで進めている ・職員が意見や提案を出しやすいよう意見箱を設置し声を拾っている ・協議会の会議や研修などに参加し自己研鑽に努めている 		
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・日々ユニットに入りこどもや職員一人ひとりに声をかけながら状況の把握に努めている ・より家庭的な支援を行うため養育を異年齢養育へ変更、職員が意見や提案を出しやすい会議体制にするなどより良い運営に努めている ・経験の浅い職員は複数体制でサポートし専門職としての経験が積めるようにしている ・今後はさらに人材育成に取り組みリーダー層を育てていきたい意向を持っている 		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・法人が一括して採用活動を行い人材確保に努めている ・実習生からボランティアにつなげ幅広い福祉人材の育成に努めている ・看護師5人を配置しより医療的視点からの支援も行える体制にしている ・ユニット内では保育士と看護師が協力し合いその時のこどもにあった支援が適切に行えるようにしている ・家庭支援専門相談員や里親支援専門相談員を配置し多様な親子支援や里親支援など退所後を見通した支援に努めている ・人材計画に基づいた福祉人材の確保、育成に期待します 		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・法人の基準に基づき管理が行われている ・年2回施設長による面談を実施し職員の意向の把握に努め、振り返りや目標設定を行い施設から期待する役割を伝えている ・マニュアルは各業務をチェックできる仕組みにし職員が理解や定着度を確認しやすく職員が次に目指す姿も把握しやすくしている 		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇の取得や時間外労働は帳簿で管理し就業状況を確認している ・職員がいつでも意見を伝えやすい職員用意見箱の設置や面談を実施し意向の把握に努めている ・職員が心身をリフレッシュできるよう長期有給休暇の導入について検討している 		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制度を導入し先輩職員が日常の業務や生活支援をマニュアルに基づいてチェック方式で確認しながら丁寧に指導しつつ身近な相談役となって不安を解消し安心して業務に取り組めるよう支えている ・施設長が年2回面談を実施し進捗状況や目標の達成度の確認を行っている 		
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設内、施設外、新任それぞれの年間計画を策定し計画的に教育研修を実施している ・今年度から始まった県内乳児院の合同研修は相互刺激をし合い情報交換しつつより良い支援を探れる機会になっている 		
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修は施設職員や法人内職員が担当し職員が今学びたい内容や力をつけたい分野を中心に行っているほか、リモート研修、動画研修も積極的に取入れ学ぶ機会を確保している ・新任職員へは知識や技能を早期に身につけ現職員に近づけることを明示しエルダー制度を導入してOJTで学び1か月をかけ法人理解から制度・実務まで幅広い内容を学ぶ研修を実施している 		
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを整備し受け入れ体制を整え積極的に実習生を受け入れている ・実習が実習生と職員双方にとって学びのある充実した期間となるよう内容や関わり方についてマニュアルに詳細に記載している ・実習期間中は担当者だけでなく各専門職も1対1で説明や質疑応答の時間をもち乳児院への理解が深まるよう丁寧に対応している 		

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやパンフレットに理念・基本方針、日課、行事、施設内写真、寄付の紹介を掲載している ・SNSで活動内容を発信し養育環境や内容を理解してもらえるように努めている ・ホームページには法人全体としての法令遵守、社会的責任、災害等のリスクへの備え、人権・労働など具体的な取り組みを掲載している ・社会福祉法人規定に基づき財務諸表などをWAMNETで公開し透明性を確保している 	
② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・法人により諸規定が整備され経理や取引に関するルールが明確にされている ・法人や外部の専門家の指導を受け適切で公正な運営を行っている 	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
① 23 こどもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・理念や基本方針で地域社会との共生と地域に開かれた施設づくりを表明している ・職員は散歩中や近隣の買物などの機会を活かし地域の方々へ積極的に挨拶し日常的な交流を大切にしている ・日常的な関わりを積み重ねこどもが安心して過ごせる環境づくりにつなげている 	
② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアマニュアルを整備し受け入れ体制を明確にしている ・地域の方々や学生が活動に関わりこどもが様々な人と触れ合う機会となっている ・夏祭りなどのイベントには里親ボランティアへも案内している ・実習生に対してボランティア活動への参加案内を行っている 	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の一覧表を作成し必要時に迅速かつ適切な連携が取れるようにしている ・関係機関との連携は担当者を配置し相互に情報を共有しこどもや家庭が必要とする支援につなげている ・担当者は正確な情報を伝えることを重視し配慮しながらも必要な内容を確実に伝えている 	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関や法人内の様々な施設から情報を得て地域課題やニーズの把握に努めている ・自治会や里親など地域と直接関わる人から地域の状況を把握している 	
② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・里親サロンを実施し交流の場にとどまらず専門職が同席し相談を受けるなど専門性を活かした支援を行っている ・地域との協働による防災訓練に参加し地域住民と共に緊急時に備えている ・一時保護の受け入れを行っている ・複数の近隣市とショートステイ契約を締結し広域にこどもと家庭を支えている 	

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 こども本位の養育・支援

(1) こどもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 こどもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護委員会を設置し職員が権利擁護について学び日頃の養育を振り返る機会としている ・施設内外の研修に参加し日常の支援に反映している ・研修後は報告書で共有している 		
②	29 こどものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護規程を設置し遵守している ・入浴は1対1で行い脱衣所はカーテンで仕切っている ・おむつ交換は決まった場所で行い他児や職員からの視線を遮っている ・プール遊びは屋上テラスでおこない施設外から見えないようにしている 		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にパンフレットや面会時の留意事項を渡し利用に必要な情報を丁寧に説明している ・面会の機会を活用して支援方針を繰り返し伝え理解を促している ・SNSを活用し施設全体での生活の様子を発信し日常の支援を身近に感じられるようにしている 		
②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・養育や支援の内容は面会時にこどもの様子や成長を丁寧に伝え保護者が理解しやすいよう努め同意を得ている ・同意の内容は詳細に記録している 		
③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・退所にあたっては移行先に記録を提供し事前の相談にも対応することで支援の継続性を保つよう努めている ・里親へ移行する場合は面会や近距離同行から始め外出や相談を重ねこどもも里親も不安を一つずつ解消できるようにしている ・法人内の児童養護施設へ移行する場合は連携して施設内保育を徐々に進めこどもが自然に慣れるように努めている 		
(3) こどもの満足の向上に努めている。		
①	33 こどもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・担当制や異年齢養育を取り入れより家庭的な環境のもと支援が行われている ・一人ひとりの入浴や職員と共に囲む昼食など日常の中でスキンシップや担当職員と過ごす時間を確保しこどもが「自分は大切にされている」と感じ安心感や満足感を得られるようにしている ・ユニット会議や養育会議で成長や支援状況の確認や振り返りを行い処遇計画に反映させている 		
(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決第三者委員・苦情受付担当者・苦情解決責任者を定め入所時に説明し周知に努め掲示で面会時にも確認できるようにしている ・苦情があった際に迅速に対応できるよう対応体制を整えているが現状苦情の申し出はない 		

	② 35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・面会届に相談を記載できる欄を設ける、面会や相談スペースを設ける、面会後に職員と話せる体制を整えるなど保護者が意見を言いやすい仕組みをつくっている ・面会や相談は専用場所で行い、保護者が周りを気にせず相談ができるようにしている		
	③ 36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・家庭支援専門相談員、管理職を中心に意見聴取や相談への傾聴に努めている ・対応する職員を限定しプライバシーの配慮に努めている ・保護者が信頼して職員に話せるように保護者の話を遮らず最後まで聞くことを徹底している ・児童相談所と役割分担し相談や意見に対応している		
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
	① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・職員は毎月安全委員会を開き食事・睡眠・遊びなどこどもの生活全般に想定されるリスクを抽出し具体的対応策を明確にしている ・ヒヤリハットや事故報告書を作成し会議で分析して改善策や再発防止策を検討し職員への注意喚起に努めている ・マニュアルに不足している点や改定が必要な点は迅速に追加や変更を行っている ・会議報告書にはマニュアルの確認箇所も記載し共有しやすくしている		
	② 38 感染症の予防や発生時におけるこどもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・感染症マニュアルを策定し手洗い、検温、消毒の方法など明確にしている ・感染症が発生した場合は1階生活ユニットから2階別室へ移動し距離を保ち職員動線を分けることで拡大防止に努めている ・職員は衛生管理の徹底に努め歯ブラシは乾燥しやすく重ならないようホルダーにかけ汚物バケツやこども用便器に蓋を確実にするなど対策を講じている		
	③ 39 災害時におけるこどもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・BCPを策定し備蓄整備や夜間を想定した訓練、水害時対応訓練など様々な場面を想定した訓練を繰り返し行いこどもの安全確保に努めている ・災害発生時には3日分のメニューをあらかじめ決めそれに基づいた備蓄を用意している ・敷地内グループ施設との合同訓練を実施し緊急時の応援体制を整えている ・訓練後は必ず振り返りを行い課題に応じた具体的な対策を立て次の訓練に活かしているほか消防署立会いの訓練を行い専門的な助言を受けて改善につなげている		

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
	① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・マニュアルの中にチェック項目を設け養育や支援の方法を標準化している ・マニュアルは養育支援の方法や各書式の記載方法、ポイント、衛生管理など31項目に分けて記載し必要な時にすぐ確認できるようになっている ・各項目に責任者があり責任をもって更新できるようになっている ・新任職員はエルダーと共にマニュアルを基に研修をし理解度はチェックで確認している ・マニュアルの読み合わせや各会議で関連する論議があった際には議事録に再確認を促す記載を行い改めて職員全体で理解を深めている		
	② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・月1回マニュアル検討会議を設け全職員が意見を持ち寄り現場の実態に即した見直しを行っている ・改定にあたっては議事録に改定の経緯や根拠を丁寧に記録し職員が理解を深められるようにしている		

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット内で精査を行い自立支援計画の原案を作成している ・その後、養育会議で報告し修正意見を折り込み正式な計画としている ・計画は次の段階や「退所を見据え作成している ・入所当初は2週間ごとに行動記録を作成し成長や変化を把握し計画に反映している 		
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月モニタリングを実施しこどもの発達や発育を確認しずれが生じた際は即時に見直しを行い共有している 		
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
①	44 こどもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルに記録の書き方やポイントを明記し誰もが同じ基準で記録できるようにしている ・新任職員へ家庭支援専門相談員が記録の重要性や具体的な記入方法を研修している ・ICTの活用でタイムリーに情報共有ができています 		
②	45 こどもに関する記録の管理体制が確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を含むこどもや家庭の情報は鍵付きの書庫で厳重に保管している ・養育や支援に関する情報はサーバーで管理し持ち出しができない端末設定にしている ・個人情報の取扱いについて研修を行っている 		

内容評価基準（22項目）

A－1 こどもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) こどもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 こどもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回権利擁護委員会を実施し事例をもとに話し合っている ・話し合った内容を実践し翌月の委員会での実践を検証している ・職員は権利擁護に関する研修に参加し日々の支援に活かしている ・管理職が各ユニットに入り日々の支援状況を確認し様々な助言を行っている ・1対1で抱っこやスキンシップをとり時間を確保し誕生日やお食い初め、節句、入園式など成長の節目を祝い過程のような愛着関係を作っている 	
(2) 被措置児童等虐待の防止等	
① A2 こどもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】 <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止マニュアルを整備し体罰や不適切な行為が発生した際の対応や再発防止の流れを明確にしている ・月1回の権利擁護委員会で日常の言葉かけや関わりの中で不適切な支援に該当しないよう話し合いが行われている ・職員は研修や関連書籍から不適切なかかわりを未然に防ぐ視点を学んでいる 	

A－2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
① A3 こどものこころによりそいながら、こどもとの愛着関係を育んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】 <ul style="list-style-type: none"> ・担当制を導入し、こども5人の小規模ユニットで養育・支援を行いより家庭的で安心できる関係づくりを大切にしている ・抱っこやおんぶ、1対1での入浴など肌のふれあいを通じてこどもが愛着を感じるよう心がけている ・職員は目を合わせて穏やかに語りかけ、こどもの反応を待ちながら気持ちに添えている 	
② A4 こどもの生活体験に配慮し、こどもの発達を支援する環境を整えている。	a
【判断した理由・特記事項等】 <ul style="list-style-type: none"> ・職員は各ユニットでアセスメントとモニタリングを繰り返し一人ひとりの発育や発達に合わせ環境を整えている ・ストックの衣服や靴は種別やサイズごとに玩具は写真付きの表示を添え収納し発達や興味に応じてすぐに見えるよう管理がされている ・祝い着は母の分も用意され一緒に祝えるよう配慮されている ・お風呂には浴用おもちゃを設置し楽しめるようにしている ・最近こどもたちに人気のキャラクターの大型ぬいぐるみを導入しこどもの安定を図っている ・時に応じて部屋を柔軟に活かし十分に動き回る場を作っている ・また屋上に水遊びスペースを設けるなど季節や体力に応じて動けるよう工夫がされている 	
(2) 食生活	
① A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 <ul style="list-style-type: none"> ・職員はこども一人ひとりの体調や成長にあわせて授乳の量や時間を調整し抱っこしながらこどもが安心してミルクを飲むよう努めている ・こどもから職員の姿が見え、声が聞こえるように調乳はユニット内の対面式キッチンで行い、こどもは調乳の様子を目にし、声を耳にしながら待っていた 	
② A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食は、こどもの発達や健康状態を丁寧に観察しながらタイミングや進め方を一人ひとりに合わせて調整している ・各ユニットごとの昼食時には栄養士や調理担当者も一緒に食卓を囲み、咀嚼や嚥下の様子を確認しながら必要に応じて食材の形態や調理方法を変更している ・ユニット内でのアセスメントは給食会議で改めて共有している 	
③ A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
【判断した理由・特記事項等】 <ul style="list-style-type: none"> ・昼食はこども5人と職員が一緒に食卓を囲み、家庭に近い雰囲気の中「おいしいね」「そうそう、もぐもぐだよ」「よく食べたね」といった会話や介助の中楽しく食事ができるようにしていた ・職員は一人ひとりの食事の進み具合や嗜好を丁寧に把握し次の献立や調理方法、食材の切り方などに反映している ・行事食は外出時の手作り弁当、誕生日の手作りケーキ、バイキング、お食い初め、調理体験など多彩な取り組みを実施しこどもがより豊かな食体験を得られるよう努めている ・中でも誕生日ケーキはこどもが好きなキャラクターを再現しこどもを喜ばせようと作っている 	

④		A8 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士は子どもと一緒に食事をとりながら一人ひとりの嗜好や喫食状況の把握に努めている ・献立は給食会議での意見や子どもの様子を参考に立てている ・職員は栄養曲線などを参考に量の調整を行うなどきめ細かな対応に努め、食事は子どもの前で盛り付け料理が仕上がる様子を自然に目に出来るようにし食への関心が高まるよう努めている ・野菜を栽培し収穫したものをメニューに取り入れたり、パフェやクッキー、ゼリーなどを一緒に作る機会を設けるなど、子どもが楽しみながら食に親しめる体験をしている 			
(3) 日常生活等の支援			
①		A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長や体形に合わせ活動しやすく着心地のよい衣類や子ども自身が着脱しやすい衣類を揃えている ・ストック衣類はサイズや種別ごとに整理し季節や成長に応じてすぐに取り出せるようにし急な一時保護入所にも迅速に対応できるよう準備している ・衣類は担当者が一人ひとり個別に管理し幼児は本人の希望を尊重し選ぶ楽しみを与えている ・成長の節目を親子で祝えるよう晴れ着を子ども用と保護者用の双方に準備している 			
②		A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・乳児は個別のベッドで一人ひとりの睡眠リズムに応じて休めるよう環境を整えている ・プレスチェックではベビーセンサーを活用しさらに一人ひとりの状況を職員が目で見確認している ・入眠時に子守唄を歌ったり絵本の読み聞かせ、添い寝をしたりなど一人ひとりが安心して眠りにつけるよう努めている 			
③		A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・沐浴は毎日行い清潔に保たれるだけでなく楽しく心地よく過ごせる時間となっている ・入浴時は養育者と1対1で過ごす大切な時間とし玩具で遊んだり声をかけたり、肌のぬくもりを感じながらスキンシップを重ね愛着関係を育めるよう努めている ・脱衣室では身体の変化や皮膚の状態を丁寧に確認し感染症などの早期発見に努めている 			
④		A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ交換の際は「きれいにしようね」「さっぱりしたね」などの声かけやマッサージを取り入れ、心地よさが子どもに伝わるよう努めている ・子どもの仕草や言葉でのサインを丁寧に受け止め一人ひとりの排泄感覚に合わせてのおむつを交換やトイレへ誘うなど自然に排泄への関心を持てるよう支援している ・トイレトレーニングは焦らず子どもの興味関心に合わせ一人ひとりのペースで進めている 			
⑤		A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝の活動時や天候がすぐれない日、酷暑の日には研修室や地域交流スペースを活用し体操や大型遊具で伸び伸びと体を動かせるようにし、いつもと違う玩具や大きなぬいぐるみなどで遊べるようにしている ・自然豊かな地域を活用し散歩に多く出かけ自然に触れながら五感を育み心身の発達を促している ・夏には屋上で水遊びを取り入れ水の心地よさや解放感を感じながら遊べるようにしている 			
(4) 健康			
①		A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニットに看護師が配置し一人ひとりの健康観察を行いながら丁寧な見守りと養育・支援に努めている ・健康診断や嘱託医による健診・診察など日常的な健康管理に取り組んでいる ・マニュアルには通院手順や症状別の対応、服薬管理、解熱後の過ごし方、病児ケアに関するチェックリストなどが整備され、職員が共通の基準で適切に対応できるようにしている ・万が一感染症が出た場合は2階に隔離し感染拡大防止に努めている 			
②		A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・入所後に疾患が判明するケースがあることを踏まえ日々の健康や発達状態をきめ細かく観察し記録している ・記録はデータで管理し看護師を中心に全職員が細かな変化を共有し一人ひとりの健康管理に努めている ・発達の姿を月ごとに発達の状況を記録し成長や発達の推移を把握し当該月の支援内容と合わせて振り返り養育計画に反映させ一人ひとりに応じた健康管理と支援を行っている 			

(5) 心理的ケア		
①	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
・法人内心理士や外部専門家に随時相談や助言を受けられる体制を整えている		
(6) 親子関係の再構築支援等		
①	A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭支援専門相談員が窓口となり、家庭の状況に寄り添いながら児童相談所など関係機関と連携し面会を大切な機会として保護者支援を行っている ・面会時には保護者の気持ちや状況を受け止めこどもの成長を共に喜び合うように努めている ・こどもの関わりに戸惑いがみられる場合は職員が自ら手本を示している ・面会後には家庭支援専門相談員が保護者の話を聞きながら不安や悩みを丁寧に聞き安心して相談できる場があることを感じられるよう相談員は努めている 		
②	A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・面会時に保護者のこれまでの歩みや抱えている事情をヒヤリングし施設長と家庭支援専門相談員が再構築のための方向性を決めている ・訓練は親子訓練室が用意されLDKの作りになっており一時帰宅を見据えて食事の準備や介助、おむつ替え、入浴、服薬など体験をしている ・職員は見守りつつ困ったときは相談に乗り自立に向け支援している 		
(7) 養育・支援の継続性とアフターケア		
①	A19 退所後、こどもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設への措置変更するこどもには施設見学や担当養育者との顔合わせを行い少しでも不安を和らげるよう努めている ・グループ内の児童養護施設へ移行する場合は決定後から合同保育に通う機会を設け少しずつ新しい環境に慣れさせていけるよう努めている ・退所後は家庭支援専門相談員が窓口となり児童相談所と連携して家庭訪問や必要に応じて連絡や相談に応じる体制を整えこどもが安心して新しい生活が続けられるよう努めている 		
(8) 継続的な里親等支援の体制整備		
①	A20 継続的な里親等支援の体制を整備している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・里親支援専門相談員を配置し児童相談所などの関係機関と連携しながら里親委託を推進するとともに、地域の乳児院と合同で里親推進の啓発イベントを行い制度理解の促進に努めている ・里親候補者へは日常生活の育児体験や外出体験に職員が同行し一緒に取り組む中で戸惑いや不安に丁寧に応じ相談に耳を傾け養育への理解が自然に深まるよう努めている ・里親交流プログラムを策定し里親サロン、家庭訪問を行い必要に応じて相談に対応しながら里親家庭を継続的に支援している ・ふれあい運動会や夏祭りに招待してこどもと里親家庭が楽しい時間を過ごせるように努めている 		
(9) 一時保護委託への対応		
①	A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルには児相相談所への確認事項を明示し重要な情報をもれなく確認できる体制を整えている ・入所から3日間は食事・睡眠・行動・体調といった項目ごとにこどもの様子を細かく記録し児童相談所へ速やかに情報提供を行いその後の支援につながるよう努めている 		
②	A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所から緊急受入れの連絡が入った際は職員が柔軟に対応し速やかに受け入れられるよう努めている ・職員はこどもの安全を最優先に協力し合い安全で落ち着いた生活環境を提供できるよう努めている 		